

2021年度実施 国際教養学部
ASU短期留学バーチャルプログラム

学生アンケート

実習期間 2021年6月8日(火)～7月17日(土)

ASU Sustainability Virtual Programに参加する後輩へのメッセージ、アドバイスをお願いします。得られたことや後輩に伝えてあげたいこと、こういう準備をしておいたほうが良いこと等、できるだけ詳しく書いてください。

設問1 このプログラムに参加して得られたこと(自分の中でプラスの変化があったと思うこと)

設問2 このプログラムを受講するに当たって準備しておいた方が良いこと

設問3 その他、後輩へのメッセージなど(自由に書いてください)

設問1 このプログラムに参加して得られたこと(自分の中でプラスの変化があったと思うこと)

自分の考えを言語化し相手に伝える能力が高まった。コミュニケーション能力が高まった。

私はこのプログラムに参加したことで、得られたことは発言力である。オンラインプログラムだったこともあり、ミュートを自ら外して伝わるかもわからない英語で発言することに初めは抵抗がありなかなか発言できずにいたが、クラスのみんなや現地のスタッフがしっかりと耳を傾け理解しようとしてくれるため、発言することに対して自信が身についた。初めは英語を頑張りたいと思って参加したが、これから社会に出ていく上で必要なスキルが得られてプラスになった。

最初は本当に英語だけの授業、会話に慣れず、英語でみんなの前で質問したり意見を言うことにも緊張していましたが、単語や文法が正確でなくても、とりあえず伝えようとしてみるということはかなり大事だと思いました。ASUの先生や生徒たちも一生懸命聞いてくれて理解しようとしてくれるので、わからないことがあって質問せずに、生徒同士で混乱しあうより、間違った英語でも伝えようとした方が解決につながり、英語スキルもあがるのではないかと実感しました。

プログラムを受けている間は各週でtopicが変わるから、サステナビリティについての論点(問題点、現状、対策案、対策案の穴、今後さらに求めらてる対策案、そもそも自分が聞いたことのない事...etc.)を簡単に自分でまとめながら勉強を進めるとえげつないレベルで理解と知識習得が進むかと思えます。

持続可能性について深く考えることが出来た。

外国に気軽に行けない今だからこそASUの人たちと話す海外で交流したいという気持ちが強まった。今はまだできないから南山でできることに積極的に参加しようという意欲が出てきた。

私の場合は、このプログラムを通して英語で自分の意見を伝えることに抵抗が無くなりました。英語での会話を成り立たせることが出来たという経験が自分の自信に繋がります。また、サステナビリティプログラムなので、サステナビリティのことばかり学ぶのかと思っていましたが、レポートの書き方や、プレゼンの方法、有効なキャンペーンの計画の立て方なども学ぶことが出来ました。今後の大学生活や社会に出てからも役立つことを学ぶこともできます。

サステナビリティは日本語でも学べるのでそこまで参加するべきではないと思えます。

本当にその案が実現可能なのか、批判的な意識を持って判断、精査できるようになったこと。

ASUが始まる前から持続可能な街づくりに関して興味を持っていました。今回のASUでは、持続可能な街づくりに関して取り上げられて、深く学ぶ機会を得られ、多くのことをインプットできました。ASU期間中に都市開発をしている社会人の方とお話しする機会が個人的にありましたが、ASUで学んだことをアウトプットできましたし、私は持続可能な街づくりに強い関心があることを自分自身でも再確認できました。

英語力に関しては、不足している部分が多くありましたが、会話を通して単語の使い方を覚えることも多くありました。また、論文を読みながら専門的な単語も覚えられました。授業も論文を読むことも英語の勉強が最優先の目的ではありませんが、確実に自分の英語力の向上に繋がることに気づいたので積極的に英語を話せるようになりました。

サステナビリティについて深く、真剣に考え議論し合う場は思った以上に普段の生活ではできないことであるため、貴重な場を得ることができた。

ディスカッションをするときに咄嗟に英語が出てこず、焦ったことが何度かありました。このプログラムでは、日々の英語のアウトプットの大切さを実感しました。

サステナブルについての知識をつけて、研究論文やキャンペーンプロジェクトをすすめる中で、自分で問題を把握して、分析し、解決策を考える力がついたように感じます。また、ASUの方々とのコミュニケーションを通して、世界には様々な文化や考え方がありと改めて実感して、視野を広くもつよう意識するようになりました。

海外の授業形態がよりアクティブラーニングなので積極的に発言する力が付いた。

設問1 このプログラムに参加して得られたこと(自分の中でプラスの変化があったと思うこと)
英語のリスニング力 持続可能な社会への意識
・英語力の向上 アカデミックな英語力はもちろん、ちょっとした会話での英語力も上がり、自然な英語を学べます ・プロジェクト作成力 人を動かすためには何が必要なのかが学べます ・プレゼン力 1日に何回もプレゼンや意見発表をする機会があるため、効果的な発表の仕方が学べます ・度胸、自信 何をすることも度胸が必要なので、何かを達成する度に度胸と自信が得られます
オンラインでの開催になった場合、現地に行けない分得られるものがないと考えることがあるかもしれませんが、私も同じようなことを思っていましたがたくさんのご意見をいただきました。言語についてもそうですが、現地の先生方や生徒の積極的な姿勢に刺激を受けたり、SDGsについての学びが深まります。南山の代替授業を受けずに留学を選んだからこそ、周りの南山の学生はやる気のある人が多いので、彼らからも多くのことを学べると思います。
人前で人の意見を述べることに抵抗が小さくなった
世界中で起きている問題やそれに対して取り組まれている事と自分が興味がある問題を結びつけるという能力を向上させられた。
Research method の授業では最終課題のレポートに備え、たくさんの英語の論文を読みました。かなりアカデミックな英単語が多く、読むのに苦労しましたが、自分の関心にあった文献の見極め方、内容の理解力が上がったと感じます。
オンラインにせよ対面にせよ、授業したいは全てアメリカスタイル。発言や質問をしたもん勝ち！間違えても先生やASUの生徒の人は理解してくれる。何よりも間違ったからといって変な空気が流れるようなクラスの雰囲気ではなかったです。
積極的に会話すること
恐れずに積極的に英語でコミュニケーションを取ろうとする姿勢が一番大切です
できるだけ英語の勉強をしておくこと。期間中はどのような課題がいつ出るか分からないので、バイトなどの予定はできるだけ入れずに本プログラムだけに集中できるような環境を整えておいた方が良いでしょう。
このプログラム内ではプレゼンをすることを伝えられてから数時間もしくは数十分でプレゼンの準備をして発表しなければならないことが多かったため大変だったが、1つのテーマについて短時間で考えをまとめ、臨機応変に対応しながらプレゼンに臨むことによって自然と自分の物事を考えるスピードが速くなり、自分の考えを素早くまとめて他の人に広める度胸が身についたように感じた。
今まで漠然としていた”サステナビリティ”に関することが自分の中でより具体的なものになりました。それは、アメリカと日本のサステナビリティに対する活動の実践の違いからだと思います。アメリカ(特にアリゾナ)では大勢の方が積極的にサステナビリティに貢献しようと行動しているので、より現実的な話を聞くことができ本当に解決しなければならない問題だという当事者意識が得られました。
サステナビリティに関して既に知っていることを題材とすることも多かったのですが、それらをより実践的な視点で考えていくので思っている以上に新しく学ぶことが多かったです。初めはASUの先生や生徒の話聞き取るだけでも精一杯でしたが、回数を重ねていくうちにだんだんお互いに深い話ができるぐらいにまでコミュニケーションが取れるようになりました。これは実際に参加しないと得られないものだと思います。
私は自分の英語力の無さを感じました。そのため、話せる力をつけたいと思い、この夏は一生懸命勉強しようと思います。

設問1 このプログラムに参加して得られたこと(自分の中でプラスの変化があったと思うこと)
友達や先生のおかげでプレゼン能力が上がった。
英語に自信がなくても発言をすることが英語力向上への近道だと思います。ASUの先生方や生徒たちは私たちが何を言おうとしているのか、話をしっかりと聞いてくれる上に汲み取ってくれるので不安に思う必要はないです。
数週間同じグループで課題に取り組んだので、新しく知り合いができた。
以前は英語で話すことにすごく抵抗があって、外国人と話すことが怖いと感じていました。このプログラムでたくさん外国の人や日本人と英語で会話をしていく中で慣れていき、以前に比べて英語を話すことが怖く無くなってきました。 また、自分の意見を人に伝えることもすごく苦手だったのですが、クラスメイトや先生方がとても優しく、私の意見を一生懸命理解しようとしてくれたので自分の意見を言う怖さもかなり弱くなったかなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・海外の授業の雰囲気分かった。 ・英語のspeaking能力の向上 ・精神力
このプログラムを通して、留学の厳しさと楽しさを感じ、そして何よりも英語を自分から話す積極性を身につけることが出来ました。
日本で何もしないよりかは確実に英語を使う機会が増える
このプログラムはたったの1ヶ月半くらいしかなく、大変なことの方が多く嫌になることもあるかもしれませんが終わってみればあっという間なので、自分の英語の能力に自信がなくてもおそれずたくさん質問したり会話をしてみたらいいと思います。誰も英語の能力について気にかける人はいないので、大丈夫です。
分からないことは先生に聞く
ある程度の英語勉強

設問2 このプログラムを受講するに当たって準備しておいた方がよいこと

継続力、与えられた課題を正しく理解する能力。

自分がどういったSDGsなどの問題に興味があるのか、何について詳しく学びたいかをあらかじめ考えておくべき。

ある程度サステナビリティでもどのポイントに関してフォーカスするのか(食、リサイクル、車社会、気候変動...etc.)を決めておくとプログラムの進行に遅れをとりにくくなるのでオススメです。

基本的な英語でのレポートの書き方を学んでから受講したらレポートを書く際に不安が少なくなると思う。

英語力においては言うまでもないが、チャットですぐに反応できるようになっておいたほうが良いということが割と重要だと思う。南山の授業では一斉にクラス全員がチャットをアクティブにするということが少なく慣れていなかったが、Zoomを利用しているからこそそのチャット機能だから反応を早くできるようにしておけるといいと思う。授業では誰かが発言しないと進まなかったり、プログラムが進まなかったりするから、話を聞いてすぐに自分の意見を出せるようにできると思う。考えている間に次に進んでしまうことが多かった。

サステナビリティについて深く知っておく必要はないですが、基本的なことは知っておいた方がよいと思います。秋学期にサステナビリティ・スタディーズ概論があると思うので、そこで知識を入れておくといいと思います。

英語についてはアカデミックな授業を英語で聞くことになり、指示も全て英語なので、それを聞き取る力は必要になると思います。スピードに慣れる練習をしておくといいかもしれません。

英語のスキル

正しい生活リズム。

持続可能性やSDGsについて、アンテナを張って、自分の興味のあることについて少しでも調べておくと楽しくなると思います。英語力はあればあるほど良いので、特に話すことに重点を置いて用意すると良いと思います。

十分なインターネット環境

教科書に前々から目を通して内容を掴んでおくと、授業に付いていきやすくなるかと思えます。

本などを読んで、サステナブルについての知識をある程度つけておくと、授業の内容も理解しやすいと思いますし、より積極的に授業に参加できていいと思います。

プログラムが始まる前からemailはこまめにチェックしておいたほうがいい。

英語力

・英語でのメールの書き方の確認

授業内容の確認や質問、アポイントメントを取るためにもメールを活用するため、きちんとした書き方を事前に知っておくと素早く相手とコンタクトが取れます

・メールシステムなど、アプリの設定の確認

ASUからのメールが「迷惑メール」に自動的に振り分けられて指示を見逃すことがありました(Gmail)

使用するツールの設定はしっかり確認しておくが無駄な混乱をせずに済みます

・基本的な英語力

授業でわからないことを質問するためにも、基本的な英語力は定着させておいた方が良いでしょう
質問したいとき、意見を言いたいとき、お礼を言うとき……など、様々なシチュエーションでどんなふうに切り出せばいいのか、その場で考えずとも英語が出てくるくらいまで定着させておくと役に立ちます

自分の意見を話す機会がとて多いので、役に立つフレーズなどを覚えておくといいかもしれません。

設問2 このプログラムを受講するに当たって準備しておいた方がよいこと
英語力
英語力。特にリスニング能力(特別講師による講義から重要なことをたくさん学べるが、それを聞き取れない事が多々あって悔しかった)
アカデミックな英単語に慣れておきましょう。授業の中ではほとんど扱いませんが(上手く伝わらないため)、教科書を読む際や課題に有効です。
単語
APAのフォーマットに関する基礎知識、Grammalyの導入
助け合える友達をたくさん作っておくこと。(プログラムが始まるってからでもたくさん作れるが、同じクラスに知っている人がいると安心できる。)
英語の講義を聞くことが沢山あるので、事前にTOEFLやIELTSなどを通して学術的な英語に触れておいた方がよいと考えます。
私は英語力がほかの人よりも低いため、Lectureの授業を聞き取るのにも苦労しました。先生方はゆっくり聞き取りやすい英語を話してくれますが、lectureのゲストスピーカーの方は専門的なことをとても速いスピードで話されます。アカデミックな単語のリスニングに慣れておくとlectureも落ち着いて内容を聞くことができます。また、ASUでは基本的にグーグルドキュメントやスライドを活用するので慣れておくと戸惑う事はなくなると思います。
短時間でディスカッションしてスライドを作り、プレゼンとして発表するという作業を何度もやった。情報交換や共有のためにGoogleフォルダを使うというような作業に慣れておいた方がよい。
強力なネット環境
SDGsに関する基本的な知識
資金
Wi-Fi環境を整えること
<ul style="list-style-type: none"> ・普通の英語の授業で、間違えてもいいからたくさん英語を話す練習をした方がよいと思った。 ・日本の文化の理解(日本の文化の英語での伝え方) ・積極性
英語を聞き取る力と、レポートでのAPAスタイルを書けるようにしておくが良い。
英語の勉強
会話ができるに越したことはないので、単語の勉強や英語を勉強しておく。

設問3 その他、後輩へのメッセージなど(自由に書いてください)

ASUの人はみんな親しみやすく先生方も親身になって相談に乗ったりしてくれます。言語の壁がありうまく通じない時もどうにかして理解しようとしてくれます。このプログラム全体を通して得られることはすごく多く、今後の人生に活かせる物ばかりです。

積極的に自分から発言をする力をつけたい人はプログラムに参加する価値があると思う。英語で学び考えるだけでなく自分自身を変えることができるプログラムなのでぜひ参加して欲しい。

積極的に参加して楽しむことが一番。わからなければ先生に聞いたら、拙い英語でもきちんと読み取ろうとしてくれる。InternやStudent workerの人たちもとてもやさしくて英語面でも、発表などの活動においても様々な面からフォローしてくれるから、安心して課題を進めることができた。

授業が全て英語で行われるので、英語漬けの6週間になります。最初は不安があるかもしれませんが、先生もTAの方も優しいので大丈夫です。安心して授業に臨んでください。私も英語が得意ではなく不安でしたが、このプログラムを通して英語で学ぶことに前向きになることが出来て成長できたと思います。是非参加してみたいです。

自分が本当に何がしたいのかを考えてください。

(オンラインの場合)ひとり暮らしをしている人やバイトをしている人は、かなりしんどいと思います。スケジュールはかなり緩く立てておいた方がいいと思います。課題が発表されていないと困ることがあれば、躊躇せず先生に連絡するといいと思います。先生方はとても優しく、努力した分はしっかりと評価してくださるので心配する必要はないです。

コロナウイルスの影響で来年も現地に留学にいけるかどうかは分かりませんが、どんなかたちであってもASUプログラムに参加できる機会があるのなら、参加することを勧めます。せっかく用意していただいた機会は、自分の知識や視野を広めるためにも最大限利用すべきですし、きっと貴重な経験になると思います。

最初はすべて英語で行うことに不安を持つ人もいますが、たとえ自分の英語に自信がなくても、度胸をもってチャレンジしていくことがとても大切です。そのチャレンジをASUの仲間は温かく迎えてくれて、必ず褒めてくれます。一度勇気を出してみれば、あとはどんどん楽になり、自信がないからと黙っているよりはるかに有意義な時間を過ごすことができます。是非このプロジェクトを楽しんでください！

ASUの先生、学生、インターンの方々皆さんが温かく迎え入れてくれて親身になって教えてくださいます。なのでオンラインでの開講になったとしても受講することを私はお勧めします。

私たちの学年はオンラインでこのプログラムを受けたため、実際に現地で学ぶことになるであろう後輩の方々とは少し違うかもしれませんが、しかし、オンラインという状況でも問題を発見して更に解決策を見つける能力、仲間との協力をして問題に取り組む能力、短時間で問題に対して自分なりの答えを出す能力など様々な能力を得ることができました。オンラインではなく対面で受けることができる後輩の皆様ならそれ以上の経験を得ることができるはずです。ぜひASUでの学びを楽しみながら頑張ってください。

最初は25万も払って、オンライン授業かよと感じましたが、サステナビリティに関してより深い知見を得ることができました。最初は聞き取れなかった講義も内容が分かるようになり、授業に対して積極的になりました。また、現地のTAや学生さんとの交流もオンライン上でしたが、十分楽しめました。また授業は昼頃に終わり、夏休みは南山大学の生徒よりも早く始まるので、参加する以外の手はありません。ぜひとも参加しましょう。

アリゾナの先生や生徒の方々はいいい人ばかりで、多くのことを学べる、いい経験になると思います。

大変ですが、乗り越えたあとの達成感は凄かったです。頑張ってください。

英語を使いながら学術的な内容を学びたい人、外国の教授と一緒にサステナビリティについて深く考えたい人などにおすすめのプログラムだと思います。

設問3 その他、後輩へのメッセージなど(自由に書いてください)

オンラインの留学プログラムでも、30万円近くの費用が必要になるので躊躇する方も多いと思いますが、得られることはたくさんあると思います。サステナビリティについてもっと学びたいと思っている人にはぜひ推薦したいプログラムです。英語力に不安があっても先生がとても親切で質問にもわかるまで答えてくださり、一つ一つの課題にきちんと丁寧な説明がありました。そのため何をしたらいいかわからなくて困るようなことは一度もありませんでした。コロナ禍でなかなか留学が難しい状況ではありますが、このプログラムはきっと成長できる機会になると思います！

大学のオンライン授業では、自分が授業に参加しているという実感も湧かなければ何かを学んでいるという感覚もあまり持てませんでした。ASUに参加して、もちろん英語でのコミュニケーション能力は上達したと思うし、より具体的で実践的な意見を考えたり短時間でプレゼンを作って発表したりといった、今後必要となってくることをたくさん経験できたので、自分の大学での学習に納得がいかない人は参加した方がいいと思います。

Q1の課題を持ち越さないで！！

英語力に自信がなくても大丈夫です。ASUの先生方はとても優しく、基本的に何をしても褒められます。

私は今でも英語が話せると自信を持って言えるわけではありませんが、英語を話すことが怖かった参加前に比べると、英語を話すことに抵抗がなくなってきたように感じます。英語を全然話せないからこのプログラムに参加することを躊躇ってしまうひとがいたら勇気を出して参加して欲しいと思います！

私は、オンラインで海外の授業を受講することと南山大学で授業を受講することは、さほど変わりはないので、ASUプログラムを受講する必要はないのではないかと思います。しかし、実際にASUプログラムに参加して、英語のspeaking能力を向上させるために必要なことを学べたり、海外の授業の雰囲気を感じることができました。英語のspeaking能力を向上させたい方、国際教養学部1年次に学んだ「持続可能な社会」の実現に関連した学びに興味がある方におすすめです。そして、来年度のASUプログラムがオンラインでの開催か現地での開催かにもよりますが、今回オンラインで開催されたASUプログラムに参加してみて、将来的にASUプログラム以外の留学を考えている方にもおすすめしたいです。なぜなら、留学先での授業の雰囲気や留学先でしっかりと必要であろう精神力を鍛えることができます。今回、幾度となく心が折れそうになる部分がありましたが、日本に居たため回復することができました。きっと、現地に行くスタイルの留学では、心を回復する暇もないと思います。なので、現地に行くスタイルの留学の前にオンライン留学を少し経験するのはおすすめです。また、私は現地に行くスタイルの留学に行ったことはありませんが、きっと得るものも違うと思います。

英語を話せなくても、単語でも何でも積極的に自分から話そうとする姿勢を持つことが大事です。日本の大学と違って、海外の大学は積極性が大きく評価されます。自分を成長させたいなら、下手な英語でもいいので毎回の授業で1回は自分から発言するようにしてください。そうすれば、プログラムの終盤には自分から発言することが自然と出来るようになっていきます。頑張ってください！

あと2年待つて実際に留学したほうがやはり学びは深い、金銭的問題などがある場合は待つてみてもいいかも

最初大変でも終わった時は自身がつく